

愛宕中学校第3学年 国語科「想いのリレーに加わろう」

【本時（ 2 / 3 ）の評価規準】

平成28年6月15日（水） 指導者 西口 沙映

読む能力

文章に表れているものの見方や考え方について、知識や体験と関連付けて自分の考えをもっている。 【読（3）エ】

児童・生徒の主な活動

学習課題 自分の経験を踏まえながら、ソーシャルメディアについて自分の考えをまとめよう。

（板書計画）

伝達手段 双方向	情報の責任	ツール
	自分	ソーシャルメディア ライン ツイッター
一方向	情報掲載した人 新聞社 テレビ局	新聞 テレビ（ニュース） マスメディア

「想いのリレー」に加わろう
学習課題

自分の経験を踏まえながら、ソーシャルメディアについて自分の考えをまとめよう。

・ソーシャルメディアとマスメディアの違い

☆ソーシャルメディアの特徴（良さ）と注意点

・世界中の人とすぐにつながる事ができる。
・気軽に情報を流すことができる。共有できる。

注意点

・相手が見えないので、傷つけることを書くことがある。
・嘘の情報を流す人がいる。

自分たちがどうすればいいかを考える。
・ネット上だから、何でも書いていいものではない。
・いろんな考えに触れることで自分たちの考えが深まる。

◆ソーシャルメディアとマスメディアの違いについて考える。

（比較することで、ソーシャルメディアが主流の世の中になっていることに気づかせる）**個人**

- ・ソーシャルメディアは、自分たちがよく使うもの。ラインやツイッターなど。
- ・マスメディアは最近あんまり見ないな。テレビよりもYouTubeを見る時間が多いなあ。

◆まとめたことをグループで交流する。

個人→**小グループ**

※個人の意見を発表する時には必ず、根拠となる部分を示す。

◆整理したことをもとに、ソーシャルメディアの特徴について考える。

便利なものは必ず良い点ばかりではないということに気づかせる。

個人→**小グループ**→**全体**

- ・ソーシャルメディアを使う時には、気をつけなければならないことやネット上以外でのコミュニケーションについて個人で考え、グループで話をする。
- その際に、友だちの意見で「なるほど」と思った考えはメモを取る。
- その後、全体で交流する。自分の意見を述べる時には、必ず根拠を示す。

◆本時の振り返りをする。

言語活動充実のポイント

言語活動：文章に表れているものの見方や考え方について、知識や体験と関連付けて自分の考えをもっている。

【読（3）エ】

・自分たちにとって身近なソーシャルメディア。これまでの学校生活の中でも、ソーシャルメディアによってトラブルになり、困った経験をしたこともある生徒もいる。そこで、パソコンや携帯電話の向こうには相手がいる。ということ意識させ、言葉の力やコミュニケーションの大切さについて、自分の経験と重ね合わせて考えることができるよう促す。

また、単元を貫く言語活動として、「クラスでできる情報発信」を設定し、単元を通して生徒が主体的に課題に取り組めるよう学習活動を工夫する。

言語活動充実のための教師の主な働きかけ

本時に限らず、学習の流れとして個人で考え、小グループ、全体で交流する。個人で考える時間をしっかりと確保し、一人ひとりの学習が深まるように工夫している

・ソーシャルメディアとマスメディアの違いはどんな点だと思いますか？表を使ってまとめ、比較していきましょう。
・まずは自分の考えをまとめていきましょう。

・比較することで、ソーシャルメディアの利便性に気づかせる。
・発言する際には、根拠を示して発言できるよう根拠を明確にし、自分の考えを深めさせる。

・グループで交流する時には、必ず自分の意見に根拠を付けて発言しましょう。また、友だちの意見で「なるほど」と思うものは、ワークシートにメモを取りましょう。

・考えを伝えあうことで、自分自身では気づかなかったことに出会い、思考を深める事ができる。
・自分の意見を伝えあうことで色々な考え方やものの見方があることに気づく。

ソーシャルメディアを利用する上で注意すべきこと、コミュニケーションのあり方について考えてみよう。

・どんな場合でも相手があるということに気づかせる。また、ソーシャルメディアを利用する場合には、情報の責任は自分にあるという点にも気づかせたい。そして、自分の生活に生かすよう考えを深めさせる。

実践を振り返って

生徒は活発に発言ができ、意欲的に授業に取り組むことができた。しかし、教師と生徒の一问一答形式のやりとりも多く、思考が十分に深まらなかった場面もあった。また、時間配分がうまく行かず、考える時間が少なくなったことも今後、改善が必要である。

指導の効果